

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス あいびー		公表日		令和7年11月11日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		身体の子もいるので勉強部屋、のんびり出来るスペースがあって良い。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		従業員を増やすために募集をかけている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		車いす利用者向けに広い玄関、トイレに手すり等設けている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃、消毒を行っている。 活動に合わせた空間になっている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		お勉強やクールダウン時に使用できる別室を用意している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に職員会議を実施している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		結果を基に話し合いを行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		支援会議や送迎後に設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		努力義務ですが、受けることで皆様に安心を提供できるとともに、改善点を見つけられると思うので今後行っていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修をオンラインで行っている。	資質の向上のために、グループや個々のスーパーバイズを行っていききたい。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	発達ナビにて公表している。	今後ホームページなどで誰でもすぐ見ることができるようしていきたい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		アセスメントを行い、年2回の保護者とのモニタリングを基に支援会議を開き作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		従業員全員で支援会議を行い話し合っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員会議で共有の後、連絡帳に支援計画を記載しいつでも確認し計画に沿った支援ができるようになっている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		障害児調査項目（5領域20項目）使用。+より詳しいインフォーマルな独自のアセスメントシート使用。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援計画に全て記載し、個々に合わせて適切に設定している。 また、6ヶ月未満でなるべく達成できるようなスモールステップで支援内容を設定するよう心がけています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議で行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員会議で行っている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		利用者の課題に合わせて適宜組み合わせ作成した後、支援を行なっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日その日の予定を確認し合っている。当番表で確認。打ち合わせが必要なものには適宜確認。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		連絡帳裏に計画のチェック項目あり。また共有事項はグループLINEで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		連絡帳にて行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		子供たちのニーズを尊重し、できる限り組み合わせ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		多くの自己選択の場を経験してもらうために、身の回りのことから(おもちゃを表に出さず一覧から選ぶ等)選択できるよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		基本的に児発管が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて対応している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じて連絡帳、LINE、予定表で連絡を取り適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	必要がある場合には直接連携。支援計画等で情報を頂く事もあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		保護者や事業所からの要望があれば行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	武蔵村山市には児童発達支援センターがない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	なかなか難しい・・・市内の他の放課後等デイサービスとは交流あり。	今後、要望があれば検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		自立支援協議会の下部組織（子ども支援部会）に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳やLINE、送迎時に共通理解を図るために話し合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	11月14日(金)高校生の保護者を対象に「後見人制度について」の勉強会を開催します。	その他、要望がありましたら研修や勉強会を開催したいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時にお伝えしています。支援プログラムについては「発達ナビ」に記載。	今後ホームページなどで誰でもすぐ見ることができるようしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリング時に、保護者・子どもの意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		モニタリング時に支援計画の内容を話し合った後、計画の同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があれば適切に応じている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		要望が少なく実施していない。しかし、保護者会を開催することで、保護者同士の意見交換等から、子どもとの関わり方など引き出しが増えたり、子ども同士仲が良いけど保護者は顔を知らない…という方たちが知り合えることもあると思います。要望が多くあれば行って行きたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		出来る限り迅速に対応しています。	苦情対応マニュアルを策定することも検討していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		お便りやLINEで発信している。	今後ホームページ作成を検討している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		十分に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個人の特性に合わせて必要な配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	夏休みの行事に他の放課後等デイサービスを招待している。ボランティア等常時募集しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練を行っている。	ホームページを作成した際には、マニュアルを載せていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを作成し定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		保護者や医療機関から直接確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師からの診断書や指示書は提出してもらっていないが、アレルギーがある子どもには保護者の指示のもと配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に研修・訓練を行い、安全に支援している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		今後行っていきたい。周知の仕方を検討。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	事業所内で共有している。	ヒヤリハットが書きづらいのか中々上がってこない。どんな些細な事も挙げられるよう方法を検討。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修をオンラインで行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束が必要な子どもに関しては契約時・モニタリング時等に説明。了承を得た上で個別支援計画に記載。同意書も結んでいる。		